備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成17年度事業）

施策名（小項目）	施設整備	コード	03-01-07	担当課	教育総務課・学校教育課
				電話	64-1802

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系		
	大項目（基本目標）	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目（基本施策）	未来を支える人材を育むまちづくり

① 施策の対象と目的 （誰のために、何のために）	旧伊里中学校を小学校に改修整備を行うことにより児童がよりよい環境で学習できるよう、小学校教育の充実を図る。
② 市民ニーズ （反応、問合せ等）	地域の学校拠点施設として整備等、多様化する学校施設へのニーズがある。
③ 現況と課題 （総合計画から現在の問題点を抽出）	校舎の改修については、新しい教育内容（小学校）に対応する施設整備が必要となる。
④ 施策展開 （総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出）	・ 校舎等の計画的な改修 ・ 防犯対策 ・ 情報教育の推進 ・ ・ ・ ・

⑤ 施策成果指標の検討・設定（基本目標・基本施策・施策意図から検討する）

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
伊里小学校改修整備	校舎内部改修、教育環境整備	1

	施策に対する成果指標名		単位	評価年度 H17			目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1	施設改修率	目標		100.0			ー	ー		単年度事業完了
		実績		100.0						
		達成率	%	100.0						
参考1		目標								
		実績								
		達成率	%	#DIV/0!						
参考2		目標								
		実績								
		達成率	%	#DIV/0!						
参考3		目標								
		実績								
		達成率	%	#DIV/0!						

市民意識調査結果	施策名	調査年度		H18	H19	H20	H21	H22
	学校教育	重要だと思っている市民の割合	%	20.8				
		満足している市民の割合	%	11.9				

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

	施策を構成する事務事業名（ ）はその人件費（単位：千円）	事務事業評価結果 A ～ E（高 ～ 低）	細事業一覧表	直接事業費（単位：千円） 17年度事業費			優先順位（A～C）
1	幼稚園建設事業 (925)	D	伊里幼稚園移転改築事業	0			C
2	小学校学校建設事業 (3,065)	B	伊里小学校建物改修事業	166,052			ー

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H17		
	170,042		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
福祉事務所	幼保一元化施設の整備	幼稚園単独整備から幼保複合型施設整備に整備変更
教育総務課	防犯対策（防犯カメラの設置）の検討	学校施設の死角となる場所
教育総務課	情報教育の推進の検討	情報教育の推進のため、地域ネットワークの活用等

⑧ 施策の評価

項 目	5：非常に高い 4：高い 3：どちらともいえない 2：低い 1：非常に低い 一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1 目的達成度	3	小学校建設事業については、改修実施により教育学習環境の整備が図れたが、幼稚園建設事業は幼保連携の必要があることから先送りとなり事業実施を見送った。	3	↓
2 事業構成の適当性	4	ハード面の整備は、妥当であると考える。	3	↓
3 施策の有効性	4	学校施設の改善には、改築が最も有効であるが、計画的な改善により延命化を図る必要がある。	3	↓
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	小学校建設事業については、伊里小学校改修事業に事業を絞り、その事業に集中投資し、事業を単年度で完成させ、教育環境の事業効果を得ることができたが、今後も、学校現場の意見を聴取しながらより一層の教育環境の充実を図る必要がある。		施設整備については、それぞれ、幼稚園、小学校、中学校といった施設の中での事業としてあるべきで、それらを一体で評価しがたい。	
担当部長コメント	建物優先度調査結果に基づき、今後も計画的に、改築、大規模改修に努める。			